

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

| | | | | |
|--------|-----------|----------------------|----|----|
| 受験番号 | | 技術部門 | 建設 | 部門 |
| 問題番号 | H29 III-2 | 選択科目 施工計画施工設備及び積算 科目 | | |
| 答案使用枚数 | 1 枚目 枚中 | 専門とする事項 施工計画及び積算 | | |

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

| | |
|---|---|
| 1 | 建設業が抱える慢性的な課題 |
| | 働き方改革を考へる上で、建設業が抱える慢性的な課題について3つ挙げる。 |
| ① | 労働集約的産業からの脱却 |
| | 建設工事は他産業に比べると、次の理由により生産性が低いままである。 |
| | ① 屋外単品生産であり、自動化が困難である。 |
| | ② 土工やトンネル工は機械化が進んでいるが、多くの分野で人力に頼らざるをえない工種がある。 |
| | ③ 様々な資機材、施工方法、関係業者が必要であり、多様な技能を必要としている。 |
| | 生産性向上のためには、これらを克服し、労働集約的産業からの脱却が必要である。 |
| ② | 熟練工を必要としない手法の開発 |
| | 例えばコンクリート工事は、型枠工、鉄筋工、足場支保工などの組立に熟練技能を必要とするが、少子高齢化により熟練者退職後の継承者が不足しており、技能が乏しい者がこれらの作業に携わるため、生産性が低下することが多い。熟練工を必要としない生産手段の開発が必要である。 |
| ③ | 現地生産ゆへの単品最適化からの脱却 |
| | 土木施設や土木構造物は、現場条件に合わせた単品生産であり、その条件下での費用・工期・品質の最適化が求められる。結果、資機材や工法が他現場への適用ができない場合があり、汎用化による単品最適化か |

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24字×25字

